

タイ交換留学レポート 10月分(3回目)

今回は悲報からお伝えしなければいけないのは悲しいですが10月13日タイの国王であるプミポン国王が永眠されました。世界で最も即位の長い国王として知られており、88歳でお亡くなりになりました。70年間という長期の御公務は大変素晴らしいことだと思います。

私は、実際タイに住んでどれだけ偉大な王様かを痛感しました。各自の家には必ず王様の写真が飾られており、学校、町中あらゆる場所に王様の写真が飾られており、タイの紙幣、硬貨にも王様がいらっしやいます。国民にとっても国王は愛されています。

そしてタイ現地では14日の授業はすべて休講、追悼式とされました。また、現在もお喪に服しており少なくとも一か月は喪服のような服(黒色か白色)で生活をします。私は普段制服を着ているので左腕に黒色のリボンをつけて過ごしています。



タイでの大きなイベントやパーティーなどはすべて中止となっていて、娯楽も自粛となっています。

この写真は私が所属している学部の先生方から国王の長期の御公務の内容が英語で綴られている本をいただきました。国王が亡くなった当日の様子や国民の様子なども書かれており、写真もたくさん載っていて国王がいかにか国民に愛されていたかを感じられる本になっていました。

そんな中で私が今月体験したことをレポートとして送りたいと思います。

15日土曜日にはEAUのオープンキャンパスのような行事、オープンスクールが開催されました。様々な企画を考えていたのですがやはり自粛ということで高校生方には大学の授業などがどんなのかを説明したり実際に授業を受けてもらったりしました。

私は日本語を学ぶことの難しさや楽しさなどを説明し、日本の文化なども少し説明して

高校生たちに日本とはどういったところなのかを掴んでもらうお手伝いをさせていただきました。



週末は少し遠くの市場まで買い物に出かけたりしました。この市場は線路沿いに店が立ち並んでいて列車が通るときは店を畳むのですが、それがかなりぎりぎりで、観光スポットにもなっています。



タイで一番大きなピンク色のガネーシャを見に行ったり、タイでは有名なお寺や滝などに行きました。



普段朝から夕方まで授業があり、宿題やプレゼンもたくさんあります。

KIU ではプレゼンをする機会はあまりないですが、タイでは週に一回ぐらいは何かの授業でプレゼンを行います。人前でしゃべったり説明をしたりするのは慣れていると思っていたのですが、英語でのプレゼンは訳が違うようです。かなり緊張しますし何ととってもイントネーションがかなり気になります。私のプレゼンテーションを聞くのはタイ人で私が発するのはタイのイントネーションでもネイティブのイントネーションでもないのできちんと伝わるようになりかなり慎重にスピーチします。

準備や発表は大変ですがきちんと伝わったとき、クラスメイトが理解してくれた時、とてもうれしく、達成感も感じます。タイでの生活も残すところ一か月を切ったため何にしても全力で行い、悔いの残らない留学生活を送りたいと思います。

おまけに…

ある日の朝ごはんに出たものです。これはカエルの素揚げです。

顔を見ちゃうと食べれないですが、目をつむって食べるとカリカリしていて美味しかったです。

でも私は一匹だけ食べてさらに食べるのは無理でした。

